

2010 (平成22年度)

札幌学院大学
経営学部

公開講座

経営学特別講義

2010年

8月23日月~28日土

※受講ご希望の方は、当日直接教室にお入りください。

続 一 一 一 一 一

「ソーシャル ビジネスが 社会を変える」

受講料無料!

事前申込不要

《道民カレッジ連携講座》

利益のみを追求するのではなく、社会貢献と持続的経営のための利益獲得を両立するソーシャルビジネスが、現在、市場原理に支配されている通常のビジネスや行政事業を補完しつつ、社会を変える21世紀のトレンドになるか注目を集めています。ソーシャルビジネスに取り組む、6名の経営者をお呼びし、ソーシャルビジネスが切り開く未来の日本を考えていきたいと思ひます。

第1回	宮本 英樹 氏 MIYAMOTO HIDEKI (NPO法人 ねおす 専務理事)
8/23月	
社会的起業な生き方	

第4回	加納 尚明 氏 KANO NAOAKI (札幌市 市民まちづくり局 市民自治推進室 市民活動協働推進担当課長)
8/26木	
ソーシャルビジネスで 成功したいあなたへ!	

第2回	鈴木 亨 氏 SUZUKI TORU (株式会社 市民風力発電 代表取締役/ NPO法人 北海道グリーンファンド 事務局長)
8/24火	
エネルギービジネスの経営戦略	

第5回	小林 董信 氏 KOBAYASHI SHIGENOBU (NPO法人 北海道NPOサポートセンター 事務局長)
8/27金	
社会起業家稼業30年と 北海道NPOサポートセンター	

第3回	石井 宏和 氏 ISHI HIROKAZU (合資会社 neeth 最高経営責任者/ NPO法人 札幌ビズカフェ 理事)
8/25水	
社会を変える! を仕事にするには?!	

第6回	日置 真世 氏 HIOKI MASAYO (北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター子ども 支援研究部門助手/NPO法人地域生活支援ネットワークサロン事務局顧問)
8/28土	
地域の課題を宝に	

会場	札幌学院大学 D-301教室 [D館3階]
講義時間	9:10~12:20 (受付9:10 講義開始9:30)
コーディネーター	河西邦人 (札幌学院大学経営学部教授)
主催	札幌学院大学 経営学部
後援	北海道コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス協議会

●お問い合わせ先
札幌学院大学 教務課 (経営学部)
〒069-8555 江別市文京台11番地
☎011-386-8111 (内線3211・3220)
URL◎http://www.sgu.ac.jp



2010
(平成22年度)

札幌学院大学 経営学部公開講座 《講義内容&講師紹介》

8月23日

宮本英樹氏

社会的起業な生き方

日本は高度経済成長を成し遂げました。そのときに日本の辺境オホーツク地方では何が起こっていたのか? 1980年代日本がバブル経済を謳歌しているときに第3世界といわれた東南アジアで何が起こっていたのか? 幼少期、青年期の原体験を交え、私が「社会を変えたい」と活動するに至る思いを紹介します。そして今、世界は、北海道は、みなさんはどんな課題と直面しているのか? それをビジネス的に解決していくための考え方を演者なりに紹介したいと思います。キーワードは「自律的な人生」「太陽エネルギー」「つながり」「仕事と稼ぎ」「フロンティアスピリッツ」。

●NPO法人 ねおす 専務理事

1969年北海道置戸町生まれ。実家は農業と林業を営む。大学時代は探検部に所属し、世界の辺境を旅する。その中で国際ボランティアに目覚め、「社会運動家」の人生をスタートさせる。まずは地元からと思うに至り、北海道にUターン。地方新聞社を経て北海道の自然を生かした教育・観光産業を創出すべく「北海道自然体験学校NEOS」に参加。エコツーリズムを手法に自律した環境配慮型観光に寄与。黒松内ぶなの森自然学校、登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山、大沼ふるさとの森自然学校をコーディネート。現在それら社会関係資本を使い、社会的起業を多数、手がけている。

8月26日

加納尚明氏

ソーシャルビジネスで成功したいあなたへ!

企業、NPO、行政の三つのセクターで働いた経験からソーシャルビジネスの本質と成功のためのポイントを話します。

ソーシャルビジネスが社会をどう変えていくか? これからの地域は何を目指していくのか? ソーシャルビジネスの未来を一緒に考えましょう。

●札幌市 市民まちづくり局 市民自治推進室
市民活動協働推進担当課長

1961年生まれ、京都市出身。1989年より札幌に在住。以来、北海道総合通信網(株)にて営業職に従事し、地域情報化に取り組む。2000年7月よりNPO法人札幌チャレンジに参加。2005年4月から北海道大学公共政策大学院に入学。2006年4月より、会社を退職し、札幌チャレンジの事務局長として専念。2008年4月より、札幌市の任期付職員として勤務。

8月24日

鈴木亨氏

エネルギービジネスの経営戦略

NPO 法人北海道グリーンファンドと株式会社市民風力発電を中心としたグループ組織での事業の経緯と現状について紹介するとともに、世界的な環境・エネルギービジネスのトレンドを踏まえた当社グループの経営ビジョンと戦略について、お話をさせていただきます。また、NPO 法人と株式会社の経営の違い、ソーシャルビジネスに必要なポイントなどについても触れたいと思っております。

●株式会社 市民風力発電 代表取締役
NPO法人 北海道グリーンファンド 事務局長

1999年、NPO法人北海道グリーンファンド設立し理事・事務局長に就任。誰でも無理なく地球環境の保全に貢献できる「グリーン電気料金制度」を開始し日本初の市民出資型の風力発電事業を行う。市民風車のパイオニアとして、各地の取り組みを支援する。株式会社市民風力発電(2001年)、株式会社自然エネルギー市民ファンド(2003年)を設立し代表取締役を兼務する。

8月27日

小林董信氏

社会起業家稼業30年と 北海道NPOサポートセンター

前半で、私のこれまでの社会起業家としての「生き方」(たまごの会、生活クラブ、社会福祉法人運営など)と北海道 NPO サポートセンターの経営(12年間の活動について事業的側面を中心に)についてお話しさせていただき、後半、北海道のソーシャルビジネス(NPO 法人等)の典型事例と事業モデルについてお話しします。

●NPO法人 北海道NPOサポートセンター 事務局長

1971年北海道大学文学部卒業。71年~78年サラリーマン3カ所、78年共同購入団体「たまごの会」設立。82年生活クラブ生活協同組合・北海道設立、発起人代表・専務理事就任。91年社会福祉法人愛和福祉会理事就任。95年NPO推進北海道会議設立。98年北海道NPOサポートセンター設立。現職は NPO法人北海道NPOサポートセンター理事・事務局長。62歳。

8月25日

石井宏和氏

社会を変える! を仕事にするには?!

ソーシャルビジネスの定義の紹介。地域課題や社会全般の課題を、ビジネスの手法で解決する事であり、「ソーシャル・マーケティング」・「CSR(企業の社会的責任)活動」の事例紹介。

企業が自社の利益や顧客だけを考えずに、社会全体の利益や福祉向上を意識して活動するという哲学の説明。

社会構造の変化(経済的利益(利潤)追求主義から、社会全体の利益(社会的利益)訴求主義へという動向)とSBの可能性。

●合資会社 neeth 最高経営責任者
NPO法人 札幌ビズカフェ 理事

1979年広島市生まれ。2003年北海道大学法学部卒業。合資会社neeth最高経営責任者、NPO法人札幌ビズカフェ理事、農業生産法人の経営に携わるなど、様々な地域活性化事業に取り組む。「志ある起業家型人材を道内の各地域で育成し、地域と企業の課題と未来を一緒に考え、解決する」地域再生やパブリックビジネス、ソーシャル・ビジネスのコンサルティング事業を行っている。

8月28日

日置真世氏

地域の課題を宝に

地域課題を宝に変えるソーシャルビジネスの実践について、地域の生活課題が山積する釧路の事例をもとに具体的にお伝えします。生活課題を顕在化し、多様な立場の人たちの主体的な参画を促す仕組み「たまり場理論」やニーズを実現化するための「ニーズの球理論」など、実践に基づいた独自のシステムについて一緒に考えたいと思います。

●北海道大学大学院 教育学研究院
附属子ども発達臨床研究センター 子ども支援研究部門 助手
NPO法人 地域生活支援ネットワークサロン 事務局顧問

長女の障がいを見つけかけとして親の会活動に没頭し、2000年NPO法人地域生活支援ネットワークサロンを設立、事務局代表として従事。子どもや障害児者に関する地域課題に当事者が主役となって取り組む機会の創出を中心とした地域づくり活動を行い、2008年5月に実践の積み重ねを理論化するため現職へ。研究者としても多くの市民事業や活動に携わりながら、これからの時代の地域づくりを追求し続ける。